

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月7日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3272100243		
法人名	社会福祉法人 吉賀町社会福祉協議会		
事業所名	グループホーム あさくら		
所在地	島根県鹿足郡吉賀町朝倉712 (電話) 0856-78-2060		
評価機関名	NPOしまね介護ネット		
所在地	島根県松江市白潟本町43市民活動センター		
訪問調査日	平成20年10月30日	評価確定日	平成20年11月14日

## 【情報提供票より】(平成20年10月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年11月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤	8人, 非常勤 2人, 常勤換算7, 8人

## (2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建ての1階部分		

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	36,000円	その他の経費(月額)	12,000円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

## (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名	
要介護1	1名	要介護2	3名			
要介護3	3名	要介護4	2名			
要介護5	0名	要支援2	0名			
年齢	平均	88歳	最低	80歳	最高	98歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	六日市病院・おがさわら歯科
---------	---------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山あいの町中で、なくてはならない福祉の町づくりを推進している法人のホームである。管理者は、利用者がこのホームに慣れ親しみ自宅で過ごすように穏やかな生活を送れる事を第一としており、職員と共に利用者の言葉や表情、行動を丁寧に見守り、不安や喜びを共有し、できる事や願いを把握して日々のケアに反映させている。地域の行事や活動などへの参加は定着し、近年はりんご狩りや防災訓練に地域の方の参加もあり、地域との交流は年々広がっている。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「利用者本位の介護計画」「介護計画の見直し」についてはセンター方式を利用し情報が広がり質の向上につながっている。「同業者との交流」は合同りんご狩の実施、職員交流会に参加できた。「家族の意見の反映」は今年度の課題となっている。</p> <p>今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価票に各職員がメモで書き込みしたり、管理者が口頭で聞いたりして全員の意見をまとめた。項目をチェックしていく中で日常で忘れていた細かい事など求められているものが再確認できた。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホームの現状や利用者の状況を報告し、防災対策などの意見を運営に反映させている。意見が言いやすいように出席者も工夫されている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族交流会や面会時に要望を聞いている。今回、家族交流会に初めて参加された家族の優しい表情に接し、改めて家族の気持ちを大切にしたい対応の必要性を感じている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域との連携を大切にしており、ふれあいサロン・敬老会・夏祭り・環境美化運動など行事も積極的に参加している。小学校の交流も続いている。地域の人からの野菜の差し入れや赤ちゃんを連れての訪問もある。</p>
重点項目④	

## 2. 評価結果（詳細）

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の意思を尊重し、質の高い支援で地域の中で安心して暮らせることをめざし、職員みんなで話し合っって掲げられた理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員が、利用者の思いを丁寧にとらえ、理念をプラン反映させながら日常のケアにあたっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事、サロン・敬老会・夏祭り・環境美化運動や小学校との交流など、地域とのつきあいが定着している。昨年はりんご狩りに地域の方の参加があった。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価票に書き込み意見交換しながら評価を行った。自分の考えを自問自答しながら振り返り、求められていることを再確認できた。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状報告や防災対策などについて話し合い要望、助言を聞いている。災害対策に対する意見から、カセットコンロや備蓄など備えている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当者とは認定調査や相談ごとなどを通じ日常的に行き来している。現状や課題を情報提供するよう努めている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月担当者が、日頃の生活や身体状況（状態の進み具合なども）を手書きのお便りとして写真を添えてお知らせしている。家族より「安心した、嬉しい」と返事を頂いている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族交流会や面会時に、意見・要望を聞いている。ケアの中で信頼が深まった家族もあり、家族の心情などの理解が大切と受け止めている。	○	予定されている家族のアンケートなどを工夫され家族との信頼がより深まる事を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的には異動は行なっていない。職員採用時には1～2日ボランティアの形で入ってもらったり事前研修を行っている。管理者や主任が実技指導など行なっている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は勤務として参加でき、資格取得にも協力支援され、職能評価もしている。ホーム内研修会もあり職員は積極的に参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	圏域グループホーム職員交流会に参加し、情報交換を行いサービスの質の向上に努めている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に家族と一緒に見学してもらい、一緒にお茶を飲んでいただき馴染んでもらうようにしている。利用者の知り合いが居られ安心される例が続いた。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	煮物や酢の物の料理方法や野菜作りなどを教わっている。又、利用者同士のいたわり合いの場面で学ぶことも多い。寂しさや不安も共感している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	大勢の中の一人の思いを把握するのは難しいが、言葉や表情や行動などで把握するように努めている。表情を見て声をかけ、廊下や部屋でゆっくり話を聞いている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式を取り入れ職員の様々などらえ方を確認し、カンファレンスで話し合いながら思いや希望を十分に把握した言葉が介護計画にあげられている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	24時間生活変化シートを記入しその情報をもとに話し合い見直している。月1回の会議で担当者がアセスメントを記入しケアプランに反映させている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	短期入所支援を2回実施した。早期退院支援や受診時の同行、外泊外出支援も行なっている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医による定期受診をしている。急変時にも受診がスムーズに行えるよう医師との連携を図っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでどこまでできるか、対応について家族、主治医と話しあう姿勢がある。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	トイレの声かけはそっと誘導するよう配慮している。声かけを一人でくつろげる時間を作り出すよう気を配っている。個人情報や書庫に保管するようにした。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝時間、髪染めなどペースや希望に沿った支援をしている。利用者の生活暦を尊重し生活の中に活かしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	グループ毎にテーブルを囲み、職員も一緒に会話をしながら和やかに食事をしている。配膳や片づけも自然に行っている。食後も歌を歌う人もいてゆっくり楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できる。時間帯も利用者の希望に添えるように、職員体制も確保している。シャワーチェアや滑り止め、手すりを工夫し、安全・安心の入浴を支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	包丁とぎ、野菜作り、歌、編み物など楽しみにしておられる。金魚のえさやり、庭の草花を生ける方、干し柿作りなど、楽しみごとが多い。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近所の散髪屋さんに行きコーヒーを頂いたり、受診の帰りにドライブしたり、友人や兄弟の見舞いに行くなど、希望に柔軟に対応している。草花摘み、草取り、花の手入れなど戸外に出ることも多い。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	一般家庭と同じように夕暮れから夜間のみ施錠をしているが、昼間は出入りは自由である。職員は利用者の行動を把握し見守っている。地域の人の見守りもある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回防災訓練をしている、今年は地域の方が数名参加された。備蓄品も地域の方にも、と多目に確保している。利用者の緊急時情報提供表を作成し日ごろから意識的に取り組んでいる。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎日確認し、体重増加を防ぐために利用者にあった食事量にしている。汁物にはとろみをつけ食べやすく工夫をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下や食堂ホールには、庭に咲いた草花が生けられ、金魚とめだかが飼われている。又、ソファなどがあちこちにあり、手作りの小物が暖かく居心地のいい雰囲気を作り出している。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	藤イスや炬燵・家具、手作り品など馴染みの物に囲まれた居室となっている。夫の写真や自宅の位牌・安来節の免許証など思い出の品もあり、安心して過ごせるよう配慮されている。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。